

第18回 鉄鋼材料と鋼構造に関するシンポジウム
「摩擦(攪拌)接合技術とインフラ構造物への適用の可能性」

日本鋼構造協会・日本鉄鋼協会 交流企画連絡会

日時: 2022年11月17日(木) 15:30~18:00

場所: 東京ファッションタウンビル9階 904会議室

No.	所要時間	時間	担当協会	氏名	所属	講演(および執筆)テーマ※	講演概要・備考	
0	15:30~15:35	5分	JSSC	藤田 正則	神奈川大学(JSSC学術交流小委員会委員長)	挨拶		
1	15:35~16:25	50分	ISIJ	藤井 英俊	大阪大学接合科学研究所	講演① いくつかの新規接合技術と大型構造物への適用の可能性	講演者は、これまで、鉄鋼材料を無変態で接合する低温摩擦攪拌接合(FSW)、低温線形摩擦接合技術(LFW)、制御通電圧接などの新規接合技術を開発してきた。本講演では、これらの新規技術の大型構造物への適用の可能性や適用の際の課題などについて論じる。	
2	16:25~17:15	50分	ISIJ	柳樂 知也	物質・材料研究開発機構	講演② 制振ダンパー用鋼材の接合技術とその周辺技術	形状記憶合金をベースとして開発されたFe-Mn-Si合金は、優れた低サイクル疲労寿命を示すため、次世代の制振ダンパー材料として期待されている。しかし、凝固割れ感受性が高く、溶接性を克服することが課題である。本講演では、アーク溶接および摩擦攪拌接合により、構造化を試みた研究について紹介する。	
	17:15~17:20	5分	休憩					
3	17:20~17:55	5分	JSSC	田中 剛	神戸大学大学院(建築)	パネリストによる問題提起(建築)		
		5分	JSSC	木下 幸治	岐阜大学大学院(土木)	パネリストによる問題提起(土木)		
		25分	JSSC+ISIJ	講師およびパネリスト			パネルディスカッション	
4	17:55~18:00	5分	JSSC	白旗 弘実	東京都市大学(JSSC学術交流小委員会副委員長)	まとめと閉会のあいさつ		